俳諧

明治百題

夏

四月 一
拾
五番水
大矢數
夏の表
懺 八
神水
白玉
晒布
六月

卯月
白重 四
茶湯番
新茶
麦秋
藥降
粉団
夏の月
惟新
過番
夏引茶
水無月

卯月降 二
夏衣
卯木槿 五
茶摘
日の傘
百子搗
五月鏡
夏の月
夏山 十一
五月雨
梅雨 十
水無月

素麺
夏衣
佛生會
夏笠
菜玉
蒲鉾 七
五月雨
粽
夏川
夏の雲
夏味噌
夏味生
夏引茶
水無月

陽炎 三
灌佛
蓼祭
丹ら新
海鼠干
五月
柏餅
五月雪
夏の雲
夏味噌
夏川原
一新酒
心太
暑水

初鰹
佛産湯
日光祭
四月
五月雨
夏川原
心太
暑水

砂糖水　柘榴水　沈麦十四　赤豆粥　不子湯　祇園会　暑
炎天十五　日盛　雲の峰　風薫　青葉十六　夕立　雷陣
夏雲　百合　夏百十七　土用　涼風　涼し　納涼
打水十八　氷干　土用干　汗　午睡　簟　蚊帳
抱瓶　夏座　清水　さし井十九　蚊遣火　蚊帳
夏菜　[redacted]　新物廿一　夏菜　夏桃　夏菜　柳廿二
牡丹　芍薬　卯花　芥子花廿三　時計草　夏草　蕉　杜若
菖蒲廿四　一八　梔の花　盧橘　花柚　柳の糸　茨の花廿五
相の花　援摘の花　茂　夏木立　病葉　常磐木　花の葉　木下闇廿六
茅萱　下毛　霸王樹の花　山梔の花　乗耳州　夏草　水草　蚊帳廿七
蓬　麻　早苗　田植　住吉田植廿八　早乙女　瓜の花

茄子　慶参子　夏菜　苦の花　風車廿九　丈の草　松葉蘭
樗の花　青梅　栗の花　柿の花　夏蜜柑　蒜の花　蚊帳
卅日　卅日　青柿　志子　夏州　蒜の花　蚊帳
川骨　蓮浮葉　蓮の花　水葱三十一　夏蕨　夕顔　卯の花三十二　蚊帳
青田　田草取　風薫　葱　百日草　青芒　淀霄
蔓の花　藍苅三十三　紫蘇　蔓の花　藻の花　藻苅　生薬苅
萍　太蘭　百合の花　姫百合三十四　接子　午時草　紫陽花
鈴の卅　石菖　石蘚三十五　冬瓜　干瓜　生薬瓜
夏桃　青唐辛　越瓜
牡丹　鳴蛙三十六　老梅三十八　水鶏　蝙蝠三十九　牧笛　行々子
白百合　初松茸　松茸　生薬四十　蝉　山蓮花

鹿子	鹿鳴角	青鷺	蘭	柚姫	焙半	焙 四十一			
枝性	子子	水馬	飛蛾	蜘蛛子 四十二	蒙	馳			
聖帝 四十三	雲	牧	牧柱	惰 四十四	牧老	毛虫			
羽枝秀 四十五	亀鶴	火蛾	照射	住宅	毛物 四十六	鶏飼			
鬱	烏菜	浮菜	蟹蜘	悔	蛤蟆 四十七	夜の雲			
罵	川狩	青〇蛍	洗能	衛ら鈴					
秋年	秋蝶 四十八	夜更	夜神楽	茅海	陶後	彩夜			
朗徐									

巻二百六十五終

俳諧明治八百題

行庵洒雄選

夏之部

四月

衣替　寒き人形を四月哉　逸閑

昇殿して下の方四月の部　夏外

出産の祈て下の方四月哉　琴堂

新茶の湯うつ四月哉　柳笠

月雪の和ら四月哉　梅後

朝日社刊ら出四月哉　英深

戸のうち人形の四月哉　詠徳

接ぐやうに雪を降らせる四月雪
郭公鳴くや四月の雨
水鶏の音や四月の夜
きしてゆくも四月の月
ゆくんで蛍出る四月哉
寺の木の秋の時雨四月哉
本うつれて志ぐれ四月の梢山哉
梅の新枝四月の時雨
降り残る四月の夜や
青葉
春雨や四月の梅の新
春雨や四月の夜の
明り月や四月の夜雨

風志
桃李
吟宋
中聲
分尾
尖す
秋生
三雄
峰
新言
洒雄

卯月

卯月の雨やうれしき朝ぐもり　風秀
苔ぬれて雨ぬれ口のあり卯月哉　遊古
山ぐのまれぐしき卯月うれ　雨松
卯花降
山の梢もひろうれ卯月哉　治女
不二卯ぐうの花ぐ一つの中　義村
青簾
今朝立の山ふ一青簾　西馬
脱ぎうる邪ぐもあり青簾　春水
青ぐぐ入あき山ぬぐすれ　宇山
雲もうるもうるぐしき簾　花外
吹込ぐ海ぐや青すぐき　芳翁
ぐりぐやぐうぐ青笠　夜堂

連

陸の緑の色深く青き色
青き葉を枝にうつし林を起しうつ
ゝ届ぬ所もなく青葉
西湖

更衣

今朝までの分別して更衣
ゆくをめぐる月日や更衣
蒼丘
望む時もなし味なし更衣
滴翁
山うぐひす我うぐひす更衣
寿色
更衣空もきれふの色ふかし
永旭
きれいきやうの更衣
支吟
帯も彩月ゆかしやうや
梁江
日のよくさす更衣
乗雄

袷

出来て来てこれはいそうす更衣
西雄

換袷

袷替やうの月の尺をこうら
雅丸

初袷

我彩の袷ものの袷
休林

新時の袷失ぬうちの袷
沙巖

袷きぬ人まき初月ハのの乳
雅邦

袷

袷の風まきゆる袷の打月ハのの乳
一曇

袷をまきて袷を換おくせ
万古

時の袷きてきて通りて
清氏

見外

うゝまきたるうゝぬ 袴の下をせ 永 厂壹
袴のゝ間ゝもたゝ形ゝ 裾ゝ 學雜
ゆるゝ出てゝ 袴ゝ 谷の
人のまゝ袴を見ゝ 白 雨
見おろゝ丈彩ゝ 袴ゝ 波平
見まゝゝ形ゝ見ゝ 袴永 笠萬
伊ものもうゝまゝ 袴ゝ 系文
袴見ゝ見上ゝ門の 袴う形 望未
和まゝ風や袴を見ゝ 人 葉成
袴見ゝ不ゝまゝ 一笠
持出ゝや袴ゝ小袴見 独井

袴ハまゝ裾の中ゝ 袴ゝ 弘海
袴見ゝ長ハ袴や十七日 雜句
形ゝ見和ゝ 袴の下せゝ 咒壊
袴まゝ見ゝ袴ゝ 袴ゝ 袴名
形人出ハ形の中ゝ 袴ゝ 子袴
白 重 仏もゝぬ墨の白 袴や白 雲 き雜
下 帯 下帯やゝ下帯 袴 雲 雜
蘭盆祭 もゝ形 おゝ 袴 雲 雜
盆ゝ 海 ゝ人の見ゝ 海系 雲路
仏生會 まゝゝ笑ゝ 海ゝ 袴 雲路
まゝゝ笑ゝ 袴 雲 袴市
仏ゝ 袴 雲代女

[illegible]
[illegible]
[illegible]

大矢数

一童　百孫　弱者　未咲　歳　山雪　宗旨　西馬　宋山　浮女　立休

新菓撰

菓撰　茂好の五つ　書さし　郎

書さし　社壁　書さし　郎

雑表

雑表　雑表を　雑表の　雑表　雑表　雑表

[illegible]　梁雲
[illegible]　樓山
[illegible]　友柳
[illegible]　立休
[illegible]　熊海
[illegible]　子尾
[illegible]　子柳
[illegible]　出雲
[illegible]　芳洲
[illegible]　西馬
[illegible]　子尾

友夜

友の秋や[illegible]馬のくつ　友柳
[illegible]　立休

不二嶽

[illegible]　[illegible]　熊海

麦秋

[illegible]　[illegible]　子尾

麦秋や二人扶て　寒　寒　子柳

一とせの先安堵と麦の秋　出雲

留主の戸に馬も[illegible]と麦の秋　芳洲

日傘振人の日午き[illegible]　西馬

[illegible]の行[illegible]日午　子尾

扇

[illegible]　一路
舟を出て[illegible]入る日午[illegible]　素梁
[illegible]を[illegible]日午[illegible]　丹柴
[illegible]不二の山[illegible]日午[illegible]　酒友
[illegible]　狐雲
[illegible]　芳三
出[illegible]　紹言
[illegible]　義翠
[illegible]　立休
[illegible]　[illegible]
[illegible]　張女

言葉
の白
一路
尾正
梅雪
逸淵
来虎
由磐
麦く
安女
寿を

五月

海羅千

多くふる五月の雨に昇る雲
宮の戸も沒はれて五月雨
山ゐ女の雲人る暖の那
石ゐ暖こふる彩堀る乳
業を形をの雄の柿る暖う来
古仏のも家のこりや神のあり
家ニ形ニ屋ニて天き暖ニ乳
形を屋の竹きあるふ暖ル
茱萸西ゆもふふ笠暖ル茱ふる
百子揚を子もふふ百子揚を
開卅猪子けも霧のこ人ま合

の屋
波平
沼子安
市月
世一
文沼
里山
沼水
修を
梅林
家村

菜玉　菜玉や後の月　仙子
粽　粽結ぶ人も馴れたる　粽　百級
やうやう粽の風雅なり　車水
結ぶ人も家まうさ　庭風
柏餅　追ひけり出るや柏餅　業成
菖蒲　菖蒲の宴の野菖蒲　子尾
野菖蒲宴の命のやうに　甘好
暮ぬ人の残りて菖蒲哉　山雪
神木　神木や紫の菜のふり井　家村
粉団　粉団やふ中ぬる真ぬる　仝
五月後　五月の蔭も移す五月の後に　涼童

競馬　競馬出ぬ人ちらり　仙子
移ひをする移りきたる　この孫
原地打　原地打るのうたあつぬ原地　子尾
猫　猫よ原るまも打ぬる原地に　仝松
百時　百時てきやめて原地　文英
新茶　新茶や原地の原　家村
五月雨　五月雨よ尾いひ独居に　山外
出　出てけいふ向ひ五月雨　象安
五月雨　五月雨やおそく屋敷の下　逸園
五月雨　五月雨やさて五月雨　孫山
五月雨　五月雨や井ぬ　ぬ牛

除くとあく梅あく振窓や五月雨　不傑
家をまもる八月の菜之五月雨　雄成
五月雨の中よりも沖の海千うの丸　玄鹿
苔の戸の庭の小草や五月雨　梅宝
五月雨の降ぬ日ハ笠無ハ不　象村
ぬれぬれや苔の日のくれ　寿之
五月雨やさらぬ所ハ苔ハ下　伯友
埋ぬ中ぬ程ぬや五月雨　西湖
五月雨や笠ハ埋ぬ中ぬ程　梅梅
ぬれぬれも降る雨を五月雨　家屋
五月雨や筏引ぬ人　堀　蓼丈

梅雨

苔ぬ八おもの五月雨　西旋
古ぬや梅雨の月ぬ海　石丈
夕陽や梅雨の水の松　玉枝
梅雨晴や海の水ぬ峰の松　正竹
五月雨　庭の戸や柳一本の五月雨　西旋
白ぬ白ぬや苔も付ぬ海ぬ　梁高
白ぬ白ぬやぬぬの夕ぬ　如白
降る雨ぬぬ雲も降ぬ海の雲ぬ　春定
苔ふ降ぬ海ぬ雲ぬ降る雨　一路
五月雨ぬぬぬぬ　梁堂
　　　

[illegible]や時もことに序うる　如水
序うる白うふ[illegible]の[illegible]　吉舊
[illegible]　[illegible]や夜の月　色濤
[illegible]人を[illegible]夜の月　弘徳
[illegible]や根葱の夜の月　孝之
[illegible]の[illegible]や[illegible]の月　吉吟
川[illegible]馬の[illegible]夜の月　節言
[illegible]や笹屋の夜の月　素柳
[illegible]や[illegible]夜の月　有格
[illegible]人[illegible]夜の月　笑之
夜の月人を[illegible]　仙子

夏の月

[illegible]や[illegible]夜の月　義路
[illegible]夜の月　松翠
五月雨や立[illegible]の[illegible]　月義
[illegible]　[illegible]夜の月　葉古
[illegible]や夜の月　崇尾
[illegible]の[illegible]人[illegible]　夏[illegible]月　蛙蛾
[illegible]夜の山　函賞
[illegible]夜の山　一[illegible]
[illegible]夜の山　如水
[illegible]吉吟[illegible]　素[illegible]
[illegible]夜の山　如久
夜山を出[illegible]

雪とまるる山の里
夜川 夜川や秋さびしかるべき 夫好
夜の秋 夜の秋 夜の秋 夜の秋 秋川 龜洛
夜の霧 夜の霧 夜の霧 夜の霧 吞吹
夜の雲 夜の雲 夜の雲 夜の雲 遠岡
夜の雲 夜の雲 夜の雲 夜の雲 李
夜の雲 夜の雲 夜の雲 夜の雲 史青
夜の雲 夜の雲 夜の雲 夜の雲 子陵
夜の雲 夜の雲 夜の雲 夜の雲 紀言
夏衣 夏衣 夏衣 夏衣 興據
夕風や 夕風や 夕風や 夕風や 仙子
涼しかるべき 涼しかるべき 涼しかるべき 涼しかるべき

蚊帳 蚊帳 蚊帳 蚊帳 蚊帳 蚊帳 蚊帳 蚊帳

六月や寒さいかつて吠ら
六月や鵜の目鷹の目
六月や行きそなはる京の水
六月の柱隠くす出雲うち
六月や頼いかつて吠ら
六月や乙鳥き浦の海
六月の山や青うして月のうち
六月の思ひ出つゝ新の家
六月や乞ひ求らの夫婦
六月や乞ひ求らの新墨
六月の月や名本を枝柱

外烟
遠山
夏旅
越古
壽之
琴月
永山
峯由
仙子
青蔭

六月や夏草手ぬ砂時
六月の月の新本什
新しく仏一本人や氷室当
乞ひ求らう夏ふ雪氷室氷
乞の名もうやや氷室の新蔵
蝶舞ふるも不思議や氷室
氷室当枝の生も夏ゆ新生
きうしふ氷室の性一氷
待つ人も当ふ新手や氷室山
乞氷
乞ひ求らもう新手や氷室山
乞ひ求らもう一夏氷
乞ひ求らもう夏や夏氷

英保
酒旅
文行
苦菅
山雪
鶯松
支吟
羽人
孤月
陰女
俊吉

四山
南こ
う考
う
修吉
夕
弱木
ぬ久
ア
書
風
来こ

干鰯
一枚酒
人吉
酒水
孤樽水
樽菊水

一枚赤
嶽山
梅咲
西馬
丁屋
京古
沢水
詩
城
活
女
嵯峨

清麦
清麦や子守る吉を少し寝ぬる
清麦や夕不来て笑こし
門先よりの井戸掘て清し麦
不二清
新夕よりあてくるかの不二清
見えるの雲うち時く不二清
子むらの振書こまくて不二清
赤宝暗
清ゝ夕よりも彩しや赤宝暗
祇園會
祇園会や一日彩戸まさしら汁
人出ちまきうまり後る洗鉾
暑
暑き日もくるつの絶ぬる吉宝
つるの絶ぬる彩戸暑こと

五体投地
五体投地
一炊
一炊
巣枕

くもゐくさたちのぼる　雲の峰　時鳥
はるかまさるこゑふかくさけてこゑの峰　石燈
おもてもふるもたかき夕日のこゑの峰　鶯宿
まこと深し　梅雨　梅屋
我庵や南よりあめ　雲の峰　夕涼
はるかしらぬ　郭公　吹くこゑ　雲の峰　梅雨
風薫　風薫る　あをき　郭公　梅雨
薫る風　ふるさと　家　文　文　夏
風　薫る　郭公　ぬる　一羽　節言
風　うせ　薫る　ふるさと　夏の　向　時雨
やど　新の　郭公　陰　山　風　薫　庭風
　　　

夕立　夕立や見うるる雲の門　叔山
降くれし夕立やうくれうくれ　甘蔗
夕立や雲の解を新せらるる　芋渚
夕立や中しの打のうちの時の雨　東之
ゆふくれの計の雲の目数計　洒雄
雷陣　雷の陣もはるかに夕月数　素路
雷の陣くれの引くれ雲　隆友
雷の陣のうくれや紫竹のうち　嘉村
夏雲　数ハ山の雲の陣や夏の雲　東玉
雲の陣くれの雲しく夏の雲　及幾
雨乞　雨乞のうちの陣くれの数　江水

夏雨　降雨降るるふるや夏の雨　玉枝
雨やはらくれ雨川や夏の雨　素力
降のうくれのあめや夏の雨の雨　伝翠
夏霧　地霧のうちのうくれや夏の霧　梅雲
山風　霧のうちのやうくれの山風　文河
涼よき山風のうちの雲　巣欣
涼風　涼風のうくれの数の時の雨　牧童
涼し　涼風と風のうくれの涼し　一吟
涼しく涼しくうくれの涼しき　由楚
蓮葉　蓮葉のうくれの涼しき　西馬
涼しさや涼しくうくれの雲　多枝

[illegible]　聚堂
[illegible]　田乗
[illegible]　傳函
[illegible]　久
[illegible]　溪巖
[illegible]　梅林
[illegible]　変
[illegible]　梅軍
[illegible]　秋翠
[illegible]　戸臺
[illegible]　羅梅

納涼

[illegible]　宮山
[illegible]　分柏
[illegible]　酒堂
[illegible]　舊遠
[illegible]　水
[illegible]　言遠
[illegible]　酒旋
[illegible]　園知
[illegible]　南
[illegible]　末歸
[illegible]　龜治

納涼

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年

臘

箪笥

秋琴
独弁
琴月
琴皮
の厚
折笠
一筐
兜擦
洒煙
寿之
仙子

仏婦人　紙きせの火うち　休四人
休四人　ちいさい　休四人
抵箱　ちいさい　一箱入
反魂　反魂　反魂　反魂　一反
反魂　反魂　反魂　反魂　一反
反魂　反魂　反魂　反魂　一反
清水　清水の口　清水の口　清水
清水の口　清水の口　清水
人参の粉　人参の粉　清水の口　清水
人参の粉　人参の粉　清水の口　清水

糸粉
山休
白扇
一帖
反魂
一反
四乗
抵抵
抵笠
清安
参之

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
源山路や[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一日[illegible]
山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

素瓢　時翠　細雄　一阪　一具　好　定家　逸岡　紅翠　時翠　紅月

紫花　紫桜　桃　紫桜　桃　紫桜

牡丹　紫桜　紫桜　紫桜

雅実　千尾　古文　吟風　一世　山崎　性丁　芳徳　修古　琴岡　紅月

信西も笠とられぬ丸　震宿
吹る花の梦を押のうち　鬼燈
手弱くも動うねる風のあるゝ水　雞冠
苔　茶　苔茶のたゝるもあるゝ丸　文行
卯　花　卯の花や新しの叶の白し　捷丹
うれ花のうちもあるもち絵時　雪三
卯の花の雪のうへ　坊泊
卯の花や本陣あるゝの行灯　船言
卯のうやまくの白妙の布屋　逸芙
卯の花や雪の新よ似て重ね　芝子
卯の花や移るぬ屑の移る茶　志物
　　西雄

卯の花よりくゝ実結る花　水　寺吟
行らるゝ吹うゝ月の芥子　西馬
猫立ーんまうゝ月の芥子　分物
手入せぬ卯ひゝ中ー　叶の花　分尾
ゝ物や花ゝ行ゝ人ゝ也　雪宗
げゝの立月ゝ月ゝ　芝舊
ものゝゝゝの手弱ー　孤白
白芥子の先ゝ脇ー　行方の不　月
花ゝ社吹ゝ物ゝ　粧逸日　翠
寐ゝる也ゝ白ゝの移ゝ　洪女
月の作ゝ面白ゝ　桑由
　　尾正

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芙蓉花　芙蓉花　逸淵
芙蓉花　芙蓉花　文行
芙蓉花　芙蓉花　兼成
一八一ノ花　一葵
梯花　梯の花　源山
梅の花　梅の花　一葵
黄橘　黄橘　生蕾
黄橘の花　黄橘の花　一路
黄橘の花　黄橘の花　泡皮
黄橘の花　黄橘の花　人の家
黄橘の花　黄橘の花　人の家
黄橘の花　黄橘の花　人の家
柚の花　柚の花　牛
柿の花　柿の花　盤村
柿の花　柿の花　西馬
柿の花　柿の花　芳叫

柿の花　柿の花　長牛
柿の花　柿の花　物笠
柿の花　柿の花　市月
柿の花　柿の花　多尾
柿の花　柿の花　山休
柿の花　柿の花　呂風
柿の花　柿の花　仙水
桐の花　桐の花　仙子
桐の花　桐の花　文行
桐の花　桐の花　史麦
桐の花　桐の花　箱石
桐の花　桐の花　義
桐の花　桐の花　義
桐の花　桐の花　義

代遠しく歳久る庭木乳　呑吹
月の出を祈る　弓淫
隠を清る　流翠
歳久る松の　猪雄
花の　紅義
庭木立　牡丹
病葉　笠
庭木の葉　代の物の家古
庭木の葉紫を後に風も小
庭木の葉紫小
物も古の物も古の葉紫小　世好

庭木小ちらしの外の葉紫小　古ちら
葉紫を　弓桁
下雪や　松の雪
小一丁　丁壺
花を物の　葉供
小一丁　来咬
花　一　朱下雪　蛙蛾
ふる　朱下園　宋硯
下雪を　庭木小　松翠
雪　下　山桜乳　一董
雪　下　人の　雪　小　活字女
雪葉　乳　雪　人　雪葉　小　この孫
雪葉や　昇る　雪ぬ池

下毛下毛や来くくれいまく　春路
下毛や引くくくさい叫毛毛　雪之
花梅　毛毛毛や毛毛井毛毛梅梅　分梅
山毛山毛毛毛毛毛梅梅　五体
霸王樹花　きゆきんや毛毛の吹毛毛毛き　泊水
山梔子花　口形しの毛毛毛毛毛毛毛毛　逸閑
くくち形しや命を備る毛の梅　修吉
帝百叫　毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　又く
笋　笋毛毛毛毛ふ井の梅くくく形　孔徹
井毛毛を梅毛　俳くくくくくく　風雅
笋毛毛くしくく梅き梅毛毛　有梅

井毛毛や梅毛毛　皆西
吸毛毛や井の毛毛の義の毛月梅　青里
井の毛や毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　仙子
井毛毛や毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　陶巖
笋毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　雅友
井の毛や毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　月
井蔵梅　松井の毛毛梅毛毛風の吹毛毛　毛梅
毛毛毛毛毛井の毛毛毛毛毛毛毛　吏長
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　家持
遠麻　毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　吟琴
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛　琴翁
梅毛毛の麻の梅毛毛毛毛毛毛毛　月の影

早苗　女の髪の形　市川
　　雪渓
　　墨山
　　素水
　　素為
　　文行
　　呼一
　　若竹
　　玄素
　　雪香
　　行水

田植　女人も出て居る後の田植哉　皆遊
　　早乙女　早乙女も腰の手拭哉　活け女
　　早乙女の撰き市社哉　蛙城
　　早乙女は取て子の数哉　外良
　　早乙女の仇を引やうな社陰　龜徵
　　早乙女の手拭濡せもせず　百枝
　　早乙女も出て くるる植社哉　月嶺
　　早乙女や却て山の雪　素里
　　所社也　出て雨の後生て里一面の花　鶴幽
　　出て吸ふ新も清水の石　松啜
茄子　うつむいて野菜を手に水　丸水

[illegible]

夏菊

[illegible]

苔の花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風車

[illegible]

馬酔花

[illegible]

胡ケ谷

[illegible]

樗

[illegible]

書物

[illegible]

生椒や子なりそめし　翠帳
栗花　戸口もさらぬつゆの栗の花　桂澤
今させハ接き出やうれ出る　主水
雫の花ちるや　戸口の油糟　黙平
ちりのもちるや　秋白のめりて　唯蓮
桃実　実桃ハ赤のふやけ　碎ころ　公
志草　ちりもちるる志草　木芝
ちりもちるる花の咲　志草　吟宋
夜竹　夜ちるや花ちるる竹　風路
咲やせもぬ夜ちるる　傳外
蒜花　夕影や花ちるる蒜の花　一路

竹破日　竹枝ちるゆうや　仮住居　武
竹ちるるうちつつ　桂　西雅
若竹　若竹や新屋の屋の百ちる　春波
若竹　若竹ハ新ちる　雀生　弘美
若竹　竹ちるや二日目　波生
ちる竹　ちるちる花ちる　桂市
椒の花　新ちる竹の中ちる椒の花　急閑
雨ちれ　雨ちれ雫を合歓の葉ちる　松宵
椒の実　椒の実　椒の実　文行
合歓扇　合歓扇刷毛ちる　絵生
合歓の外　ちる合歓の外　筆成

動くとは波立ぬ川や松の葉　一茶
夜ぶかし　秋吟して夜ちかう成る蛍　宗旨
早松茸　さまざまつとふさまざまの秋草　紫生
第六花　さまざまの世をさまざまの蓮のうち　五休
川骨　うらうらの川骨流れ行く秋の水　時雨
蓮浮葉　大つぶのうらうらの蓮の浮葉の水　李水
蓮の蕾の秋をかなしく浮葉の蕾　李義
夕露はしらつゆ蓮の浮葉の露　紅義
面影はあれぬ蓮のうき葉の水　浩女
蓮の蕾のうら浮き浮葉の蕾　独井
秋をうら葉のうらうら蓮の蕾　吉年

蓮

新露の時に白し　蓮の露　一の谷
面影しらふの蓮の露　文子
吸ふ秋のさらさら蓮の花　石文
蓮の露うるおき波の蓮の花　休浩
帳面なる夏ぬ世実ぬ蓮の花　市月
白蓮花　柳の蓮の露　面柳
すゝやうの夜を夏ぬ蓮の露　護外
留守居なる人寺の秋蓮の花　一炊
露ぬ蕾二心ある　蓮　う郎　李水
風吹うけて蓮の蕾の芸者　亀燈
蓮のうらの面影の月秋の　宋山

夕霧や霧の中なる一段咲　霧島

水宝桜　水宝の桜の桜の桜　武蔵林

春もまだ春を水宝の桜の郷　う珠

てふるるもたしなめぬ水宝の桜の春　一路

屋敷

白雲の屋敷の屋敷の春の春　玉枝

屋敷の雲の雲の雲の雲の雲　魚仙

春の雲の雲の雲の雲の雲　聚百

屋敷の雲の雲の雲の雲の雲　半山

夕白

ゆふの白の夕の白の夕の白　笑三

夕霧の夕の夕の夕の夕の夕　兼成

夕霧の夕の夕の夕の夕の夕

ゆふの白の夕の白の夕の白

紅花

紅の花の花の花の花の花　柳笠

紅の花の花の花の花の花　楓路

紅の花の花の花の花の花　逸閑

紅の花の花の花の花の花　文行

紅の花の花の花の花の花　一泉

青田

青田の田の田の田の田の田　柳笠

青田の田の田の田の田の田　宋水

青田の田の田の田の田の田　馬柳

夕霧や夕の夕の夕の夕の夕　峰洋

夕霧や夕の夕の夕の夕の夕　一鼎

夕霧や夕の夕の夕の夕の夕　義翠

四草夜　笠波船を笠の笠の笠　四草夜

[illegible]

風蘭　風蘭や向ふの[illegible]の波　嘉村
[illegible]　拐笠

蕙　[illegible]蕙　文行
[illegible]　一茶

百日紅　百日紅[illegible]　仲山
[illegible]　弘徹

青芒　[illegible]　洒旌

淩霄　淩霄の[illegible]　逸渕
[illegible]　[illegible]女

蔓荊花　[illegible]蔓荊の花　思東
[illegible]　秋翠

益苓　刈萱や[illegible]　洒旌
[illegible]　庭百

紫薇　[illegible]紫薇の秋の[illegible]　考三

菱花　[illegible]菱の[illegible]　聚徹

藤花　[illegible]藤の[illegible]　仝

[illegible]　一學

藤の花の[illegible]　一虎

藤苓　[illegible]藤苓[illegible]

紫菀苓　[illegible]紫菀[illegible]

萍　萍や[illegible]　春水

風雞

[illegible]

吟味
月籟
[illegible]

一[illegible]
東飄
西旋
西馬
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

治隆卿

石菖　石菖や日社風の遠き霊　素力

石菖や多社しく居屋付の　未和

石菖を眺をやしまるや新の陳　青吟

日表もまき石菖の葉ふり水　一の鼎

石菖の風ふくまま空しき水　半頂

石解　石解や吾未のくさの葉参り　又く

冷　広　手陰くまくまや生薬の冷加減　心是

雪吉一や負人のさ新の冷一　広　屠用

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　広　[illegible]　[illegible]　[illegible]　五林

干　広　干　広　干　広　[illegible]　[illegible]　[illegible]

生薬広　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　文冷

反　[illegible]　反　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

不如　陽　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible] 夏関
[illegible] 高く
[illegible] 陵高
[illegible] 西馬
[illegible] 活字女
[illegible] 来る
[illegible] 鞍の
[illegible] 尾
[illegible] 梨月
[illegible]

[illegible] 文沙
[illegible] 石火
[illegible] 雪柴
[illegible] 鶴歩
[illegible] 柿笠
[illegible] 龍沙
[illegible] 新芋
[illegible] 家屋
[illegible] 秋沙
[illegible] 蒙る

明邦の紅を毛ひ子規
蓑の稲を蓑の入風やほとゝぎす
傳よ行さる夏ゝ時分
遠蓑も高しこの岸ゝ
あゝまた毎日時や妻孫妻
我鼾年よ入ゝ時ほゝきた
寄ゝ新よ例ゝ敷い待や不如帰
去を時ゝ来を出ゝ時分
郭ゝも行時ゝ行ゝほゝきた
新の戸社出会ゝ時ゝ
蓑笠あまきたぬ春やゝ子規

支吟
宣香
一晩
湖巖
其好
外林
仙子
誌石
慶雄
泉山
琴逸

ほゝきた程遠ゝ為ゝ
夜を明ゝ時分
月ゝ居ゝ迷ゝ子規
を鳴ゝ山のうゝ形り
ゝ古ゝ夏ゝ
長ゝ蓑ゝ
ゝ所の山を渉ゝ
次ゝを深山の霧や不如帰
蛍ふゝ中ゝ樓ゝ子規
一ゝも多ゝ孫ゝ時分
同ゝ来ゝ時や蓑ゝ来ゝ

旅友
三影
白扇
女
乙義
武人
野風
一路
俊定
翠城
素良

うらゝに葉の笑をはじめそめて紅
十分や彩まさる花も不ぬ陰
時々あるあるは休はらしに
枝笠のうめの雪や鳴はの
果子の数はしに数まさる
うんちうを人に為て百姓中
形ちゝよ写年物に果古
春よ名を見て一つまや鳴はの
小宋所人やうちに果子の
舌をうぬるぬるよりまし

鶯 鳩 鳴はの

蛙 蛙鳴 舌

雙史
靜子
望一
分尾
桂城
宋山
桂鮮
仙子
秀雪
春路

老梅 附春の芽をもやう老をもやう
をしまるやうに芽をの先をう
芽をもや咲をく老をうう
梅をや老をれ和をうをき
芽をもや老をう果をうを
をれ籠のうをを和を老ぬ新をを
梅をや月を梅をの老を咲
老を咲 芽をふく梅風
玉鶯 鶯をうをを梅をう
をの老を人陽をを鶯
引汐よ舟をを鶯を

梅笠
乙鶯
船言
西京柏
宋山
翠屋
雪富
春琴
梅井
古春
五休

月星ゆうすけすきを手弱み
一枝ずつ紛今つきー水弱み
義ぬすく田れすするを手弱み
ずすくい枝を新めるを手弱み
義山を越す雪く吟を弱み
吟すぬを弱み一枝吟ーすを
さしすきを吟を手弱み
手折戸や手弱の春もすすを
雪雪や手弱のすすふを
吟付す限すすぬ水弱すを
手弱すすすぬ枝すを

蛙蛙
吏麦
栄欣
酒友
芸政
履堂
宋山
枝逸
寄三
渓巖

枝手引人すを尺すを手弱み
写すせの付すすきすを手弱乳
蛙蛙蛙蛙や枝すを尺を弱乳
うすありや霞すを尺を弱乳
うすありやすを枝すの新
蛙蛙や笹すをすを一新の雪
故吟を動すを故すすすを
行すすせすーれハすを月りをすすを
吟すすを金のるをすをきやすし
遠すを渓小庭すすすすを
限すを笹すを新すやすすを

枝吟
酒蛙
梨渓
蛙山
柳釜
以釜
を好
風政
紙子
蓑庵
素猟

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

吹きちらひさきいそぐる花よ汝　右市
荔袋角　又刺さもきつしや花の俗角　休休
ひきらくふきつつ又ちつ角　洒旋
きつ　きつ跨れもも袋きき義毛汝　皮平
きつ跨しや人家を[illegible]汚昇の雲　拍拍
きつ跨しや雲雨却らつつ夕後　呼柴
蘭　蘭却らく肉義のやちを歩つつ　吾祢
蘭や蘭や形蝦ふきつつ一寿　袁尾
抽　延　きつ蘭ぬ牙をしきつや抽延　分尾
ひつつつ智者もきつや抽延　洒旋
蝦牛　きつのせつ又きつ蝦つや蝦牛　逸淫

てきの角まもの毛墨り汝　附徳
ふりちい袁ちん角や蝦牛　呂吉
ちつ居きちつ蝦きつつふつ　笑之
袁ぬを地もきつや蝦牛　皮平
てもを除くく義紙柳絲汝　袁袋
きつ又きつ又きちひちりつ　一路
りきつ行袁を紙きや蝦牛　物市
蝦の用の笑り合ちを子紙月　分尾
蝦きちふも蝦ちつ義の西きと　伝袋
蛙　蛙　きつやちく陰ち居る　蛙蛙　一路
ゆきちちち蝦つ義きと　蛙蛙　笑之

子子子

蛇

[illegible]

一光　松古　出女　一路　後生　風呂　理井　主殿　業由　風之

蛇

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

[illegible]

義の牧は人まつうて育てる
夕月や牧の屋ぬきの志
あふき出して牧の吟しうれ
牧の夏や蓮よりきてれる家
風後て牧の夏うる涼か
西まふをしし牧の窓
牧出てうるまきうる板のうるか
牧の夏の夜やうもきう後うれ
牧月宮をれて牧柱白
牧柱や桜桐の鞍より出るう
うけしうや又うる人の伝きう

蘿石
沈女
及哉
孤月
翠微
一生
武人
事水
子尾
牧丘
春迄

蛙

くふゆ文海より入蛙より入よりて
蛙うぬ星を取きの吟しか
一本窮うを生一蛙の白しか
毋云蛙を出て鶏夕り鶏
やうせうや牧蛙ハ牧の這入蛙
蛙を出て又を月取の不二の山
を伸て又うやうぬ舟の蛙
宮より入ちうもうや蛙仕中
屋つきい春うるうや蛙の色
無かうやうや夜うて我蛙か
蛙の月のうをうもうる月取か

逸閑
作山
万山
寿三
子物
物白
舞文
哭如
屋重
衛徳
三代

[illegible]の時[illegible]寒[illegible]の月　亀は
[illegible]より[illegible]　[illegible]　[illegible]　

陽ろも形名の形し通略　義村
ろもむろ居る白樓切く火　孫　法子女
高きろうよろ青も赤ろう火蛾　文河
枝ろもきく西さねよ火ろ虫　赤阿
おき生ろの河生ろ又赤て火蛾　葉古
蛾生ろてむの清ろう枝の灯　仙子
咒もきろをしの火ろ虫　枝白
蛾ろろう高よろちて火蛾　う厚

思村　本常よ雪さ紀の赤る思村火　枝蓋
ひうせよ氣枝ろめきるろう火　赤山
雪庫　よろ暗よい消ろ思ふ雪庫火　逸閑

さしろ紀く人彩ろゆる火庫火　ろ尾
赤ろ彩るきろいはのうや雪庫彩　枝山
屋の赤ろく河ろたし雪庫さ　ろ好
ろえさしをふろうろる雪庫火　寿三
やろや　ろものう　逸閑

獸　將　尚きめろ　咲や　ろもやう　由琴
將　何　枝よ居ろきさ紀れ將　ろもやろ
彩の將の彩ろ紀あろう咲ろ雪　ろ尾
河ろよハきひ生ろもせあ彩火　彩ろ女
ろ彩る將よきろ紀ろ二彩や市將ろ　宋尾
居さ彩の相ろひしろく紀生火　見琴
彩ろ箒ハしろむ赤ろ彩ろ　き椒

鵜

鳥の巣

川筋や宮も篝舟の綱やけ　聚洲
男子拝す聖祖縄ちりや鵜の声　江夫
うゝ出て栗を取て鳥の秋　東陸
鳥の巣をうれいうゝ人の家　千尾
栗を五七鳥ゝて居せハ水ゝ生ぬ　古也
鳥の巣やあちらゝ社畳て又さも鳥乳　捷井
舟よせてゝゝ生いもあき浦の鳥　猪松
老鳥捕て浦の鳥ゝ嵐ゝ乳　鳥古
よるゝ人あきよゝ人を鳥の浦の鳥ゝ乳　波平
鳥の巣　汐ゝゝ宿の奏や鳥ゝ月　五休
捕　整ゝ生ゝゝ高ゝ鳥のゝく捕ゝ乳　麦水

捕の鳥ゝ　やゝいゝ鳥ゝ鳥ゝ乳　俳古
お水をゝゝゝゝゝゝゝゝ　千松
新ゝゝ生のゝく鳥ゝ鳥ゝ捕の鳥　松士
捕鳥や海の光ゝの鳥ゝ入　可鼎
窓先を捕ゝゝ鳥や風の捕　訊聚
鳥鳴をゝのゝ古ゝゝゝゝゝ鳥　仙子
捕の鳥や窓も寒も一ゝ色　古風
鳥一入を一ゝ　鳥の寺　素堂
絡線　鳥や京や敷も絡線鳥ゝ生ゝ　弓柳
夜の虫　水ゝ生ゝゝゝゝ夜の虫　西馬
あゝゝゝゝゝゝゝ夜の虫　俳塵

嶮　芦刈て多き出水の四つ手網　徐堂
川狩　さらさらと川うの小網さし　多賀
川狩やうるさ社の行方入　青里
言今　言を入て学ぶふ義まうる　春水
言を入て学やもきさうく乱　松風
芦多の言を入て蒲ゐ清み水　考遠
清流　清みうる鶴の多けれ松の風　比水
際う館　紅水もうるうる際う館　横山
秋近　松のうる秋多まて秋を　松丘
秋うこき彩のうるや粧う本　一隆
不来秋　来ぬ秋きうせうく霧のうう咲　護外

来ぬ秋よ知らうる多の義　沖
秋蹄　白雲や多うるく〻秋蹄　紅二
夏更　夏うるや砂うよ一星月刻　松笠
うを多うる夏多文うる一節切　芳徒
夏神乗　咲ぬ多よ一仲　海夏神乗　市月
ゆく水よ暮ハ陸多夏神乗　玉的
茅蜩　子をさ秋よ先清うする茅蜩　松風
所に男ひうる清ちれうる　嘯石
博稜　牛清ふ人も陸うれ出稜川　青義
芦の多　うるる遊ふうるる　一路
うるふの多ふ中うるる松　波平

すまうる海の浦に出て釣す　千徳

人言繁き年法ひとり傳殺川　聚重

行夏　加茂川の方へ行かゆくとまるる　洒堤

朗詠　人の生涯夏なれば行末の孔　丁壽

押あるくめふ夏の戸に出る　多賀

寒山詩　月は雲にかくれる源一件第　仝

三彩うれ物夏まる鶴くるる　孤松

寂寥ふるうれ世まる鶴地　青吟